

2018年8月1日

ホテルキャッスルイングループの事業譲受け完了のお知らせ

日本産業推進機構（東京都港区 代表：津坂純 <http://www.nssk-japan.com>）（以下、「NSSK」という。）は、傘下の中部・北陸地域活性化投資事業有限責任組合（以下、「中部北陸投有責」という。）を通じて、ホテルキャッスルイングループ（<http://www.castleinn.co.jp>）の事業を譲受けましたので、お知らせ致します。

ホテルキャッスルイングループは、豊富な観光需要、ビジネス需要を有する三重県の四日市、鈴鹿、玉垣、津、伊勢、二見において「ホテルキャッスルイン」又は「リゾートイン」ブランドで6つのビジネスホテルを所有・運営（総客室数826室）しております。同ホテルグループは、大浴場（露天・貸切風呂含む）、駐車場等の充実した設備を有し、リーズナブルな価格帯で宿泊サービスを提供することで安定した顧客基盤と高い収益性を有しております。

NSSKは、ホテルキャッスルイングループがこれまでに築き上げてきた事業基盤を生かしつつ、独自の経営支援パッケージである「NVP」（NSSKバリューアップ・プログラム）やメンバーが培ってきたホテル事業に対する知見や国内外のネットワークを活用・提供することで、同グループの次のステージへのさらなる成長を支援させていただきます。経営管理手法の導入、ガバナンス、コンプライアンス体制の強化、コーポレート・フィロソフィーの浸透、ESGの推進、RevPARの向上等を具体的に実施する予定です。オペレーションに関する施策については、当社と強固なリレーションを有するホテル運営のプロフェッショナルと共同で実施する予定です。

NSSKは中部北陸投有責を通じて、中部北陸地域（愛知・岐阜・三重・静岡・長野・福井・富山・石川）の成長性のある中堅・中小企業を対象とした出資・経営支援活動を行って参ります。必要な成長資金、国内外のネットワーク、事業の改善に役立つプロセス、人材補強を迅速かつ具体的に提供することで、出資先企業とともに企業・株主価値の向上を実現し、雇用機会の創出など中部北陸地域の経済振興及び活性化に貢献して参ります。

本件に関するお問い合わせ先：

日本産業推進機構
担当：永森 利彦
電話：03-5401-5600

<添付資料>

出資母体:	日本産業推進機構(NSSK) (http://www.nssk-japan.com)
設立:	2014年12月
所在地:	東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー17階
代表者:	津坂 純
概要:	大手グローバル企業にて国内外の出資活動・出資先企業の支援を30年以上に亘り行ってきたプロフェッショナル達によって設立された、日本の中小企業支援を主な目的としてきたグループ。潜在力の高い日本の魅力的な中小企業には地域密着型金融の推進パートナーとして、グローバルな舞台で培われた投資・経営支援ノウハウを提供し、その企業・株主価値の更なる飛躍・向上を目指す。

投資主体:	中部・北陸地域活性化投資事業有限責任組合
設立:	2016年10月
所在地:	東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー17階
スポンサー:	日本産業推進機構(NSSK)
概要:	中部北陸地域(愛知・岐阜・三重・静岡・長野・福井・富山・石川)において、地元を中心とした金融機関、地域経済活性化支援機構(REVIC)、NSSKの経営資源を総合的に活用し、地域中小企業への出資並びに経営支援を通じ地域経済活性化を図る。

取得事業:	ホテルキャッスルイングループ (http://www.castleinn.co.jp)
ホテル名 及び開業年:	ホテルキャッスルイン四日市 (1986年) ホテルキャッスルイン鈴鹿 (1993年) ホテルキャッスルイン伊勢 (1998年) ホテルキャッスルイン玉垣 (2003年) ホテルキャッスルイン津 (2005年) リゾートイン二見 (2001年)
概要:	「ホテルキャッスルイン」及び「リゾートイン」ブランドで、三重県内に6つのビジネスホテルを所有・運営(総客室数は826室)している。大浴場(露天・貸切風呂含む)、駐車場等の充実した設備を有し、リーズナブルな価格帯で宿泊サービスを提供。